

オフィス機器

オフィス業務の中で会議に費やす時間は長く、質や効率の向上は重要な課題である。

日立グループは、スクリーンのそばに立ってもプレゼンテーションの妨げにならない超短投写 프로젝터를、他社に先駆けて開発してきた。現在、設置性に優れ、明るさや解像度を向上させた製品や、インタラクティブ機能でメンバー間の相互理解を深める製品などを市場投入している。今後もユーザーが快適な環境で使用できる製品の開発に注力していく。



1 電子黒板機能付き 프로젝터 CP-AW2519NJの使用イメージ

1

電子黒板機能付き 프로젝터 CP-AW2519NJ

電子黒板機能を内蔵した 프로젝터 CP-AW2519NJを発売した。 프로젝터から投写した画面上で直接、付属の電子ペンをを用いた文字や図形の手書き入力やPC (Personal Computer) 操作を行ったり、書き加えた画面をPCに保存したりすることができる。

壁や黒板など投写できる平面さえあれば、少ない導入コストで電子黒板として機能する。投写画面上での動きのあるプレゼンテーションにより、会議や授業などで聞き手の理解を深めることができる。スクリーンから本体まで26 cmで80型の大画面投写が可能な超短投写型であり、まぶしさや影を低減しているため快適に使用することがで

きる。また、付属の電子黒板用ソフトウェアで、豊富な教育向け素材や文字認識などの充実した機能を使用できるようにした。別売りの金具類を用いれば、縦置きにして机上投写が可能である。(日立コンシューマエレクトロニクス株式会社)

2

WUXGA 프로젝터 CP-WU8450J

フルハイビジョンを超える解像度1,920×1,200ドット〔WUXGA (Wide Ultra Extended Graphics Array)〕にリアル対応し、明るさ5,000 lmを実現した高輝度・高精細 프로젝터 CP-WU8450Jを発売した。

標準搭載レンズのほか、超短投写から長焦点まで4本のオプションレンズを用意している。筐(きょう)体の薄型設計により、天井が低い会議室に据付けても圧迫感が少ない。また、投写映像を画質劣化させることなく、スクリーン位置に合わせて移動させることができる垂直、水平レンズシフト機能により、さまざまな据付け環境に対応する。さらに、360度投写が可能であるため、床面や天井面にも投写することができる。

(日立コンシューマエレクトロニクス株式会社)
(発売時期：2012年6月)



2 WUXGA 프로젝터 CP-WU8450J